

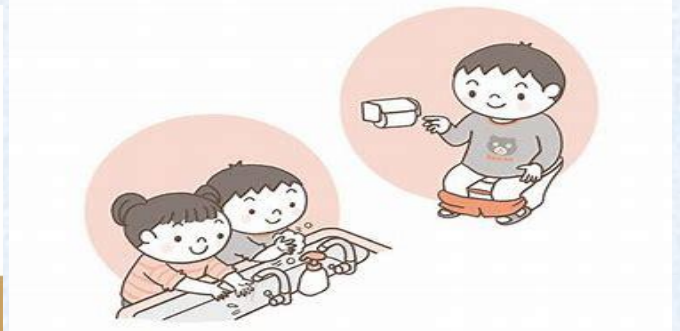


カウンセラーだより

たじま絆保育園 H30. 6月号

保護者の皆さま、こんにちは！暑くなったり、寒くなったり、雨降ったり、梅雨まっしぐらですが、皆さまお変わりございませんでしょうか？

今月号はリレーションシップ企画の第2弾として、1歳児クラスからのオーダーである『こどもの自立や主体性を育む関わり方』についてお送り致します！



こどもの自立や主体性を育む関わり方

- ・ 当たり前ですが、こどもが自ら自立や主体性を望まなければ、自立や主体性は獲得できません。
- ・ 現状としては、親や先生からのしつけや教育を通して、「ワガママを諦め？時には無理して？自立や主体性を獲得していきます。
- ・ しかし、もうお気づきだと思いますが、本来は自ら立とう、自らやろう、自分がやらねば誰がやる、という精神が目指すべく自立と主体性になります。「仕方なく」行われている行動は、たとえそれが望まれた行動でも、真なる自立や主体性とは言い難い部分がある、という訳です。
- ・ さて、前置きがやや長くなりましたが、「自ら」という意欲や行動を引き起こす、あるいは湧き起こして、積み立てていくためには、自立や主体性のある行動に「嬉しさ」「楽しさ」が伴わなければなりません。
- ・ つまり、こどもは本来、大なり小なり、欲求と好奇心のカタマリですから、常日ごろから、こどもの「～したい」気持ちを存分に味わい、そして、褒められる事が、ひいては自立や主体性のある意欲や行動を生じさせる種になります。
- ・ ただ、余談ですが、自立や主体性のある意欲や行動がある人は、とかく共感性や協調性とのバランスが自分よりに偏りがちな側面があるかも知れません。ですから、あくまで場の雰囲気や相手の気持ちを推し量るところも育みたいですね。

7月のお知らせ

- ・ 原則として、毎週水曜と6日(金)の09時～18時に出勤予定です。



7月号は2歳児クラス(1)からのオーダーである「～全部分かっているけど、出来ない～2歳児の自我の発達とイヤイヤについて、こどもの心情と親の向き合い方」についてお送り致します！ぜひ、ご覧ください！